

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2025-26 Vol.3

ガバナー月信

9月号

ガバナー 吉川 健之

**UNITE
FOR
GOOD**

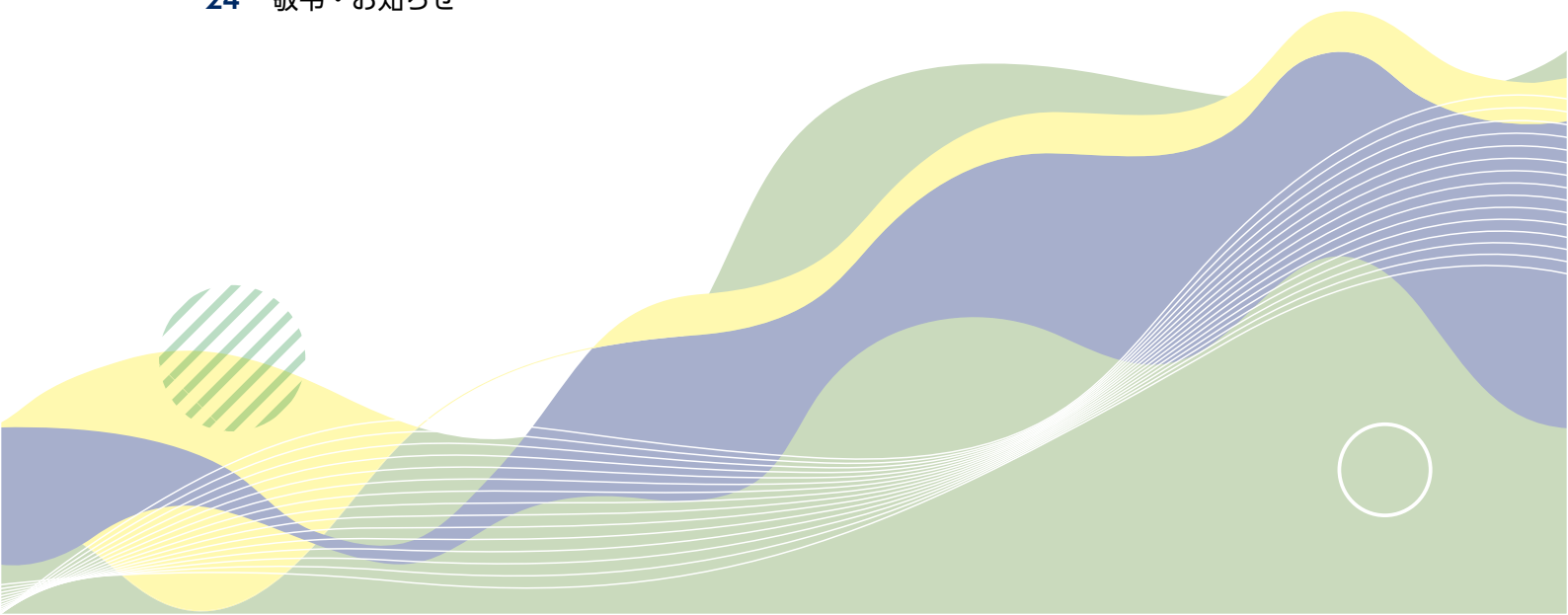
Rotary
District 2660



よいことのために 手を取りあおう

ガバナー月信 9月号 目次

- 1 ガバナーメッセージ 文字を力に、未来を拓く 基本的教育と識字率向上月間に寄せて
- 2 ロータリーの友月間を迎えるにあたり
- 3 2025-26年度 クラブ米山奨学委員長・カウンセラー研修会 報告
- 5 大阪・関西万博テーマウィーク事業 報告
- 7 インターアクト海外研修(台湾) 報告
- 9 クラブ優秀賞に関するお願い
- 11 2025-26年度 ロータリーの各種奉仕賞のご案内
- 13 2025-26年度 奨学生提唱(推薦)のお願い
- 15 チャリティボウリング大会
- 17 地区ローターアクト 活動報告
- 19 地区大会のご案内
- 20 MY ROTARY 登録状況
- 21 第2660地区 RC及びRAC 会員の状況
- 24 敬弔・お知らせ



文字を力に、未来を拓く

基本的教育と識字率向上月間に寄せて

2025-26年度 国際ロータリー
第2660地区 ガバナー

吉川 健之
(大阪北RC)



会員の皆さま、9月は「基本的教育と識字率向上月間」です。これは単なるスローガンではなく、教育の力を信じ、人々の未来を切り拓くためのロータリーの根幹ともいえるテーマです。過去のガバナーも、世界各地への教材寄贈や図書館整備の支援など、着実な成果を積み上げてこられました。

世界では今なお、何百万人もの子どもの文字を読み書きできず、教育の機会から取り残されています。国内でも、不登校や病気、家庭事情などで学校に通えない子どもたちがおり、識字が身につかず、大きなハンディキャップを背負う現実があります。ロータリーとして、「学びの扉を開く」その使命をしっかりと果たしてまいりましょう。

本年度のテーマである「Unite for Good」のもと、第2660地区としては以下の取り組みを継続・推進してまいります。

①奨学や教材支援プロジェクトの継続と拡充

過去にRACやクラブが展開してきたモンゴルなど海外プロジェクトに習い、今後もグローバル補助金を活用し、識字支援活動を継続します。また、日本国内の支援が必要な地域との協力も模索し、地域の子どもたちが安心して学べる環境づくりを後押しします。

②教育支援をもっと手身近に — 地区レベルでの交流強化

9月は「ロータリーの友月間」でもあります。クラブ内で雑誌の内容を共有し、教育や識字支援について語り合う機会をぜひ設けてください。ディスカッションを通じて「識字」をより身近に感じ、ボランティア活動や教材寄贈への意欲を高めていきましょう。

③地区広報と参加促進の工夫

地区ホームページに、支援プロジェクトやクラブの教材寄贈活動レポートを投稿し合うコーナーを設け、クラブ間での関心や連携を促進していきます。情報を可視化することで、支援活動が次世代にも継承され、その輪が広がることを期待しています。

④会員の学びを支える環境づくり

読み書きの重要性は子どもたちだけでなく、私たちロータリアンにも当てはまります。My Rotaryなどのデジタル活用スキル向上や、地区研修会の参加機会拡充により、すべての会員が学び続けられる環境を整えてまいります。それぞれの学びが、新しい支援活動のアイデアとエネルギーに繋がるものと信じています。

⑤一緒に創る未来 — クラブを越えた協働

地区全体で手を携えることで、小さな力も大きな波となります。地区委員会やクラブが協力する体制を整えてまいります。

「文字」は単なる記号ではなく、学ぶ力や考える力、そして他者への共感を深める力でもあります。9月に掲げるこのテーマを通じて、私たち自身が学び、つながり、成長するチャンスと捉えてまいりましょう。

会員の皆さまの一人ひとりが行動することで、文字によって未来が拓かれる力強い波紋を、地域と世界へと広げていくことができると信じています。

さあ、共に学び、共に支え合い、共に未来を育む9月にいたしましょう。

ロータリーの友月間を迎えるにあたり

国際ロータリー 第2660地区
ロータリーの友 地区代表委員

田村 隆
(大阪北RC)



本年度「ロータリーの友」地区代表委員を仰せつかりました田村 隆 (大阪北RC) です。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

ロータリアンの主な義務 (三大義務) として「例会への出席」「会費の納入」そして「ロータリー雑誌の購読」があげられます。

「ロータリー雑誌」はロータリー創立6年目にあたる1911年1月25日に「THE NATIONAL ROTARIAN」の名称で機関誌が創刊されたことがスタートですが、この創刊号にはポール・ハリスによる論文「Rational Rotarianism」が掲載されました。この論文は、創立間もなくして訪れたクラブ崩壊の危機からクラブを救い、ロータリーをまとめるのに大きな役割を果たしたポール・ハリスの想いやロータリーの思想の原点が記されたものです。この論文を発表する場として機関誌 (雑誌) が誕生したと言われています。その後雑誌は「THE ROTARIAN」と名称が変わり、RIにおいては1979年まで毎年1月最終週を雑誌週間に、その後2016年まで毎年4月を雑誌月間に制定し、この期間は特に雑誌購買の必要性が強調されてきました。

日本においては1952年、日本のロータリーが2地区に分割されましたが、分割後も相互の情報共有が必要との思いから、翌1953年の1月に両地区共通の雑誌として「ロータリーの友」が発行されました。そして1980年にはRI公式地域雑誌の認定を受け今日に至っております。また雑誌月間に代わる日本独自の月間テーマとして毎年9月を「ロータリーの友月間」とし、この期間は重点的にロータリーの友について理解を深め、さらなる活用方法を話し合うことになっています。

このように国際ロータリー、日本のロータリーともに雑誌誕生には当時のリーダーたちの熱い想いに基づいたストーリーがあり、「例会出席」「会費納入」と同列に「雑誌 (ロータリーの友) 購入」がロータリアンの三大義務とされていることについて、私自身とても腑に落ちた気持ちになるのです (あくまでも私個人の解釈です)。

ただ、義務というと堅苦しく受け身の姿勢になってしまいがちですが、友編集部では“義務を果たすために読む雑誌”から“読みたい雑誌”へと変貌を遂げる「友」を目指されています。また「友を開けばロータリーが分かる」と言われるように、国内ロータリアンが従来の「学び・考える」から「ロータリーについてもっと話し合う」きっかけを提供できる「友」を目指して、編集を進めていかれるとお聞きしています。是非、そういった編集部の気持ちを感じ取ってお読み頂ければ幸いです。

ロータリーの友には多くのロータリー情報が掲載され、世界中のロータリアンの心と心をつなぐ窓口のような存在でもあります。今年度 吉川健之ガバナーのテーマである「学びと交流を通じてロータリーを愉しもう」を実践するためにも、また活動方針である「温故創新」を実現するためにも、友をご活用ください。古きをたずねて、ロータリーの友ホームページから電子版に入り (クラブごとのIDとパスワードが必要です)、アーカイブを閲覧してください。必要な情報はすべてロータリーの友にあると言っても過言ではありません。地域のクラブを超え、新たな仲間の輪を広げていくことにも繋げて頂ければ幸いです。

最後に、ロータリーの友は地区の様々な取り組みを世界へ発信するツールでもあります。是非とも、地区の皆様方の積極的な投稿をお願い申し上げます (投稿フォーム: www.rotary-no-tomo.jp/kitei.php)。

2025-26年度 クラブ米山奨学委員長・カウンセラー研修会 報告

米山奨学委員会 委員

上本 博
(吹田RC)

日 時：2025年7月26日(土) 13:30-16:00

会 場：大阪YMCA国際文化センター 2F ホール

参加者：吉川健之G、若林紀男PG、山本博史PG、四宮孝朗PG、大橋秀典直前G、横田孝久GE、ガバナー補佐、ガバナー補佐E、地区代表幹事、次年度地区代表幹事、地区危機管理委員会副委員長、クラブ米山奨学委員長、米山奨学生カウンセラー、地区米山奨学委員、米山奨学生学友会(関西) 会長・幹事
合計118名

クラブ米山奨学委員長・カウンセラー研修会が7月26日(土) 大阪YMCA国際文化センターに於いて総勢118名の参加者で開催され、吉川健之Gの点鐘で開会されました。

司会の中村 武 地区米山奨学副委員長による資料確認及び出席者紹介がありました。

吉川健之Gのご挨拶では、ご自身の自クラブに於いての米山奨学生のカウンセラーの経験をとおりてカウンセラーの重要性、米山事業全体の制度の素晴らしさを話されました。

続いて、(公財) ロータリー米山記念奨学会若林紀男理事長より、かつてモンゴルから米山奨学生として日本に留学された方が、世話クラブロータリアンの後押しもあり新モンゴル高校を設立され、今や幼稚園から短期大学に至るまでの一貫教育がなされており、この度天皇后陛下が訪問され日本語教室にも訪問されたという話がありました。

松田振興地区米山奨学委員長より米山奨学制度についての詳細な説明があり、奨学生としての義務の徹底、米山事業への理解などカウンセラーとして奨学生に対する指導、また危機管理など接し方などの説明でした。

辻本啓之地区米山奨学委員会直前委員長より米山奨学生が指定校より推薦され、地区選考委員会による選考によって選抜された奨学生が誕生し、最終的に担当クラブに配属される一連の流れを詳細に説明されました。

松田振興地区米山奨学委員長の司会により「カウンセラーと奨学生の理解を深め、未来へ繋ごう」をテーマにパネルディスカッションが始まりました。パネラーは、米山奨学会学友会委員の磯田郁子、地区米山奨学委員の泉 浩一、米山奨学生学友会(関西) 会長 呉 偉偉、同じく幹事のHO DIEU LYで始まりました。ロータリアンから見た奨学生に対する接し方、また、奨学生としてのロータリアンに対する接し方がそれぞれの立場からの意見が出され素晴らしいものがあり、積極的な意見交換がなされました。

休憩をはさみ、後半は、米山奨学生学友会(関西) 呉 偉偉会長より、米山奨学生学友会の活動についての説明がありました。学友会の目的は世界の架け橋になるということであり、学友会は世界10か国にあり、日本に留学した奨学生は、24,831名で134か国に及び、10か国の学友会は、それぞれの国で奉仕活動をしており、日本国内においても、33地区の学友会はそれぞれの地区において数多くの奉仕活動をしています。世界大会も4回目を来年に台湾で開催されます。

地区危機管理委員会間石副委員長よりハラスメントについての説明がなされました。ロータリアンとしては危機管理マニュアルにもありますとおり、厳格に扱われることがあり、重要な問題があるとのことでした。

地区交流活性化委員会土方慶之委員より、第2660地区クラブ対抗ボウリング大会の案内がありました。
最後に、米山記念奨学会理事山本博史PGより閉会の挨拶をいただき、吉川健之Gの閉会点鐘により閉会致しました。



大阪・関西万博テーマウィーク事業 報告

大阪・関西万博関連事業実行委員会
テーマウィーク事業小委員会 リーダー

貴島 陵太郎

(2025-26年度地区RA代表・大阪西南RAC)

2025年、大阪・関西万博のテーマウィーク「平和と人権」において、高校生たちが半年間かけて準備してきた平和の提言を発表する場を設けました。今回の取り組みは、国際社会の課題に対して、若い世代が自ら考え、行動の第一歩を踏み出す貴重な機会となりました。

当日は、会場に約100名（最大収容人数も約100名）、さらにオンライン配信では500名以上が視聴し、同時通訳を通して国内外に発信されました。8社のメディアにも取材いただき、報道を通じてより多くの方に高校生のメッセージが届けられたことは、大きな成果だったと感じています。

開会にあたり、甲南大学の中井伊都子学長から「踏みにじられた平和と人権を前に、今私たちにできること」というテーマで基調講演をいただきました。その後、ロータリーの奨学金制度（グローバル奨学生・平和フェロー奨学生）の受給者で、現在は国連アフガニスタン支援ミッション、国際労働機関、国連パレスチナ難民救済事業機関、元外務省職員など、国際機関で活躍する若手職員が、それぞれの現場からの報告をしてくださいました。紛争地域での教育支援やジェンダー平等の推進、人権侵害の現状など、普段ニュースでしか耳にしない事実を直接聞いた高校生たちは、真剣な表情で耳を傾けていました。

印象に残っているのは、高校生たちが発表した具体的で現実的な提案です。AIによる偽情報の拡散を防ぐためのメディアリテラシー教育の導入、すべての子どもが教育を受けられるような国際的な奨学制度の拡充、ジェンダー平等を実現するための地域啓発活動、日本文化を活用した途上国での地域経済発展支援など、どれも行動に移せる具体性を持っていました。これらは、半年間の調査と議論を通して生まれた“実行可能なプラン”だったと思います。

今回の事業を進めるために設置された「テーマウィーク事業小委員会」は、ロータリアンとローターアクターが共にメンバーとなり、私はそのリーダーを務めました。特徴的だったのは、若い世代が中心となって事業を動かし、ロータリアンがサポート役に回ったことです。これまで私たち若い世代はロータリーの支えを受けて活動してきましたが、これからは私たちがロータリーを支える立場になれると感じました。最新の技術や情報、柔軟な発想、そして行動力。若い世代が持つ強みを活かし、自らアクションを起こすことが、これからの社会にとって重要だと思います。

また、このイベントは単発で終わらせるべきではありません。高校生の提言には、多くの賛辞とともに「ぜひ実現してほしい」という声が寄せられました。今後は、提言を実際の行動につなげるため、ロータリアンやローターアクター、高校生が一緒になって社会課題解決に取り組むことが必要です。特に、国際機関でのキャリアを志す高校生が、元奨学生に質問していた場面は印象的で、こうした出会いが未来のキャリア形成に直結する可能性を感じました。

戦後80年を迎える今年、そして今も世界のどこかで紛争や人権侵害が続く現実の中で、平和教育の重要性はますます高まっています。このイベントを通じて、次世代の若者が国際社会の一員として何ができるのかを考え、行動に移すきっかけになったことを心から願っています。そして私自身も、若い世代がリーダーシップを発揮し、ロータリアンがそれを後押しする新しい協働の形が、確かにここから始まったと感じています。



インターアクト海外研修(台湾) 報告

インターアクト委員会 委員長

山本博之

(大阪東RC)

日 時：2025年8月4日(月)～7日(木)

ホストクラブ：大阪RC

ホスト校：相愛中学・高等学校

訪問先：台湾 高雄市・屏東市

受入地区：RI第3510地区

参加校：アサンプション国際中学校・高等学校、大阪国際中学校・高等学校、大阪桐蔭中学校・高等学校、
追手門学院大手前中学校・高等学校、開明中学校・高等学校、興國中学校・高等学校、
金光八尾中学校・高等学校、四天王寺中学校・高等学校、清風中学校・高等学校、相愛中学校・高等学校、
高槻中学校・高等学校(11校)

参加者：インターアクター 90名、各校顧問 15名、ロータリアン 26名、看護師 2名、コーディネーター 1名、
添乗員 3名、現地通訳 2名 総勢139名

研修テーマ：SDGsと環境

本年度のインターアクト海外研修は、委員会テーマ「Think Globally Act Locally」の一環で8月1日の「大阪関西万博テーマウィーク事業」に引き続き、世界を視野にした事業として実施しました。その目的は海外のインターアクターとの交流を通じて、海外文化に触れ、国際的な感覚を養うことにあります。以降、日付毎に報告します。

【8月4日】

関西空港駅南広場にて「結団式」を行いました。吉川ガバナーとホストクラブである大阪RC佐野会長の激励のご挨拶をいただき、台湾に出発しました。

桃園空港からバスで新幹線の桃園駅に移動し、高雄まで鉄道の旅になりました。桃園駅は始発駅ではない為、短時間で大きな荷物を持った140名の参加者を乗り込ませるのが今回の移動の中で最大の課題でしたが、何とか無事に乗り込め、車中で弁当の夕食を取り、高雄左栄駅に到着、第3510地区の皆様の大歓迎を受けた後、バスにて宿泊先の「ハイライ大飯店」に到着、チェックイン、就寝。初日は移動だけの日になりました。

【8月5日】

当地は7月半ば以降、雨が降り続いていたそうですが、我々の到着に合わせたように雨が上がり、晴天で研修初日を迎えました。ただ、豪雨の影響で現地インターアクターとの交流を予定していた会場が使えず、急遽「客家文化園区」に変更しました。ここで第2660地区11校と第3510地区5校が環境問題やSDGsについて英語のプレゼンを行いました。

どれも素晴らしい内容でした。弁当の昼食を取った後、原住民文化園区に移動し、原住民のダンスを鑑賞しました。帰り際には全員でルカイ族のダンスを踊り大いに盛り上がりました。夜は3510地区の皆様にウェルカムパーティにお招きいただきました。99名の現地インターアクター、ガバナーのスーザン様はじめ多くのロータリアンにもご参加いただき、盛りだくさんのパフォーマンスで歓迎していただきました。

【8月6日】

研修2日目は午前中「仏光山」で心の研修を行いました。ここは壮大なスケールの仏教施設で巨大な大仏と8つの塔の景観が素晴らしい所でした。ここで写経の体験や、博物館見学、法話の受講等を行い、施設内の精進料理のビュッフェで昼食をいただきました。

午後は高雄静思堂のリサイクルセンターで災害時の備え、環境保護、リサイクル等のお話を聞き、実際に市内各所から集められてきた資源ゴミを手作業で分別する体験をインターアクターにしてもらいました。海外研修の目的の一つに現地で貢献活動を行うことが定められていますが、この作業を以って貢献活動としました。

夜は第2660地区主催のフェアウエルパーティを行いました。今回はインターアクターが主役のパーティとし、主管校である相愛の生徒さんによるピアノ演奏や歌の披露そして全参加インターアクターで練習してきた「涙そうそう」の大合唱、プレゼント交換等で大いに盛り上がりしました。

【8月7日】

いよいよ最終日になりました。当初予定にはなかったのですが、現地ロータリアンの食品工場を訪問し、工場見学とインターアクターにはオリジナルのパイナップルケーキ作りを体験してもらいました。その後、ウォーターフロントの「棧貳庫」という古い倉庫を改装した商業施設に移動し、大漁旗をイメージしたエコバッグ印刷の体験をしてもらいました。

最後はその場で「解団式」を行い、高雄空港に移動、帰国の途につきました。

計画策定中、本番実施中も何かと不安な点もありましたが、大きな事故や病気も無く無事に実施でき安堵しました。これは第3510地区の皆様、委員会メンバー、コーディネーター、看護師さん、そして何よりも団体行動の規律を守って参加していただいたインターアクター、顧問の先生のお陰です。

次年度は奥村委員長、海外研修は大阪桐蔭中学校・高等学校、大東RCの担当になります。

経験豊富な皆さんが担当されますので、来年も素晴らしい海外研修になるものと思います。

是非、提唱クラブのロータリアンはご参加をお願いします。



クラブ優秀賞に関するお願い

2025-26年度 国際ロータリー
第2660地区 ガバナー

公共イメージ向上委員会 委員長

吉川 健之
(大阪北RC)

利倉 一彰
(大阪北RC)

さて、2025-26年度がスタートいたしました。本年度も貴クラブには、クラブ優秀賞の受賞に向けた積極的な取り組みをお願いしたく存じます。

クラブ優秀賞は各年度のクラブの優れた取り組みを表彰するものです。受賞要件である目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、地域社会におけるクラブの存在意義を保ち、効率的に運営するための一助となります。人びとを温かく迎え、その参加を促すクラブは、ロータリーの価値観を反映したクラブであると言えます。クラブが本賞の目標に取り組むことで、ロータリーの力強さを保ち、次世代にとってふさわしい文化を育むことができます。

クラブ優秀賞の意義及び目的をご理解のうえ、地区内全クラブ受賞に向けてご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

参加者の積極的なかわりを促す

目標	説明
奉仕活動への参加	このロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
ロータリー行動グループへの参加	このロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数
ロータリー親睦活動グループへの参加	このロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数
地区大会への参加	地区大会に出席する会員の数
地区研修への参加	役割に備えるためにラーニング行事に出席するクラブリーダーの数
リーダーシップ育成への参加	このロータリー年度にリーダーシップ育成プログラム／活動に参加する会員の数
親睦のための活動	このロータリー年度に、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
ロータリー作成の公式推進用資料の使用	このロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料（ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他の公式資料）をクラブが使用したかどうか

より大きなインパクトをもたらす

目標	説明
奉仕プロジェクト	このロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
来訪する青少年交換学生	このロータリー年度にバーチャル形式または対面式でクラブが受け入れる青少年交換学生の数

派遣する青少年交換学生	このロータリー年度にバーチャル形式または対面式でクラブが派遣する青少年交換学生の数 ※
年次基金への寄付	このロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	このロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
大口寄付	このロータリー年度に寄せられる一括10,000米ドル以上の寄付の件数
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に10,000米ドル以上の寄付を誓約することを初めてロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知、または恒久基金に1,000米ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数

※ロータリー青少年交換に参加するすべてのクラブがRIの方針とロータリー青少年交換資格認定の基準に従わなければならない。地区ロータリー青少年交換プログラムの直接の監督下に運営されなければならない。

参加者の基盤を広げる

目標	説明
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
新会員の推薦	このロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
ローターアクトクラブ	このロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
インターアクトクラブ	このロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
RYLA参加者	このロータリー年度に対面式またはバーチャル形式でクラブが支援するRYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム) 参加者の数
クラブのプロジェクトのメディア掲載	このロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数

適応力を高める

目標	説明
クラブ戦略計画	クラブには独自の戦略計画があるか
クラブ細則の見直し	会員とその他の参加者のニーズがクラブ細則に反映されているかどうか
インターネット上の存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	このロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか

2025-26年度

ロータリーの各種奉仕賞のご案内

地区代表幹事

森本尚孝

(大阪北RC)

ロータリーは、奉仕に献身し、行動を通じてロータリーの価値観を実践している人を称えます。国際ロータリーとロータリー財団では、地元や海外の地域社会に持続可能な変化をもたらすために奉仕に尽力している会員や参加者を表彰する機会を設けています。これらの賞は、1. 会員、2. 会員ではない人、3. 学友、4. クラブを対象にしています。

1. 会員、4. クラブに送られる賞のうち、クラブ優秀賞については別ページでご紹介しているため、ここではそれ以外の奉仕賞についていくつかご紹介しますので、奮ってご応募ください。

1. 会員に贈られる奉仕賞

A. 超私の奉仕賞

積極的なボランティア活動を行い、他の人びとを助け、模範的な奉仕を実践したロータリアンおよびローターアクターに贈られる特別な賞です。(1地区1名のみ。RI理事会にて選出。世界で150名まで)

推薦者：地区ガバナー

推薦期間：10月1日～31日

表彰形式：ピンおよびクリスタルの表彰、ロータリー国際大会でのプライベートレセプションへの招待

申請方法：オンライン (My ROTARY → 各種賞・表彰) でガバナーが推薦します。

B. ロータリー財団地区奉仕賞

財団プログラムを通じて、優れた奉仕活動を実践したロータリアンとローターアクターを表彰するものです。

推薦者：クラブ会長 (クラブが会員を地区ロータリー財団委員会に推薦しガバナーが選考を行います。)

推薦期間：通年 (地区大会前が理想的)

表彰形式：電子形式の表彰状

申請方法：クラブより地区財団委員会に推薦者と推薦理由を連絡

C. 奉仕部門功労者賞 (地区による表彰)

地区からの表彰という形で、クラブは5つの奉仕部門における奉仕活動に参加したロータリアンまたはローターアクターを称えることができます。奉仕部門は、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕です。

推薦者：クラブ会長

推薦期間：通年

表彰形式：電子形式の表彰状

申請方法：オンライン (My ROTARY → 各種賞・表彰) でクラブ会長が推薦しガバナーが表彰します。

D. ポリオのない世界を目指す奉仕賞

ポリオ根絶のために大きな貢献をしたロータリアンを称える賞です。地域賞と国際賞のために個人を推薦することができます。

推 薦 者：ロータリアン

推薦期間：毎年 7月～10月1日

推薦期限：10月1日

表彰形式：額入りの表彰状、楯

申請方法：オンライン (My ROTARY → 各種賞・表彰) でロータリアンが推薦します。

E. シルビア・ウィットロック・リーダーシップ賞

ロータリーにおける女性の進出に積極的に尽力する会員1名を毎年表彰する賞です。

推 薦 者：ロータリー会員

推薦期間：8月1日～31日 (こちらは残念ながら今年度は募集が終了しています)

2. クラブに贈られる奉仕賞

F. 意義ある奉仕賞

地域社会の重要な課題やニーズに取り組むプロジェクトを実施したクラブを表彰する賞です。

推 薦 者：クラブ会長

推薦期間：通年

表彰形式：電子形式の表彰状申請方法

申請方法：オンライン (My ROTARY → 各種賞・表彰) でクラブ会長が推薦しガバナーが表彰します。

★説得力のある推薦書を書くためのヒント

1. 受賞基準に目を通し、最もふさわしい候補者を見つける。
2. 推薦書式は分かりやすい文章で書く。長い文章は避ける (文章が長くなる場合は、句読点を適切に使う)。
3. 候補者が受賞者として相応しい人物であることを示す具体的な例を詳細に記入する。
これには、日付、ボランティア活動に費やした時間、プロジェクトの内容も含む。
4. 候補者と直接協力したことのある人と話し、候補者がリーダーシップを発揮した例について聞く。
5. 選考委員会に十分な情報を提供するため、推薦書式にあるすべての質問に答える。
6. 候補者について特筆すべき点を記入する。候補者が特に優れている点、候補者による奉仕活動やそのほかの活動が地元地域に与えたインパクト、ロータリーやロータリアンの使命をいかに体現しているか、といった点を含める。
7. 選考委員会は必ずしも候補者と面識があるわけではないことを念頭に置いて、候補者の何が優れているのかを詳しく説明する。
8. 推薦書を提出する前に、書いた内容を必ず校正する。

各種奉仕賞への推薦につきご質問がございましたら、代表幹事 (ガバナー事務所 gov@ri2660.gr.jp) までお気軽にお問い合わせください。

2025-26年度 奨学生提唱(推薦)のお願い

ロータリー財団委員会 奨学金小委員会
ロータリー平和フェローシップ 委員長

渡邊 徹
(大阪東RC)

2025-26年度ロータリー財団の補助金による奨学生候補者を募集致します。

申請要件を満たす奨学生候補者がおられましたら、クラブ推薦をお願い申し上げます。

また、地区に直接応募し候補者になる方もおられます。グローバル補助金を活用した事業をご検討中のクラブは是非奨学生提唱(推薦)クラブとして手を上げて頂きたくよろしくお願い申し上げます。

提唱クラブは奨学金プログラム終了後も奨学生とは長期に渡り交流頂き、将来的にはロータリアンとしてクラブに迎え入れることも推奨されております。

詳細は2660地区ウェブサイトにてご確認ください。また、奨学生に関してご質問等ありましたら、ガバナー事務所内地区財団委員会奨学金小委員会までお問合せ願います。

※情勢の変化により、募集内容が変わることがあります。

【概要】

募集奨学生候補

- グローバル奨学生 ⇒ 7重点分野に貢献するキャリアを目指す大学院生や職業人
- ロータリー平和フェロー ⇒ 草の根や国際レベルで、平和活動に貢献する人材

派遣年度

- グローバル奨学生 ⇒ 2026年度
- ロータリー平和フェロー ⇒ 2027年度以降

地区の応募締切

- グローバル奨学生 ⇒ 2025年9~10月
- ロータリー平和フェロー ⇒ 2026年5月中旬

グローバル補助金奨学生

奨学金の用途

渡航費用、授業料、住居費、生活費、保険など

募集人員

若干名

奨学金

3万ドル以上

留学時期

2026年度8月以降

派遣期間

1~2年

申請受付

2025年9月1日~10月31日

資格

1. 国際ロータリーの7重点分野のいずれかに該当する分野でキャリアを築く事を目標とし、大学院レベルの教育目標もこれに関連すること
2. 学歴、職歴、活動歴が7重点分野に関わっていること
3. 留学先がロータリーのある国であること
4. グローバル補助金申請時に入学許可状、招請状、学費支援の保証を必要とする条件付き入学許可状を提出できること(2026年2月頃)
5. 受入国の言語に堪能であること
6. 第2660地区内に在住、あるいは在学・在職、または本籍を有すること

7. 日本国籍、あるいは永住権を有すること

- ※ 面接日に必ず参加できること。
- ※ グローバル奨学生に選ばれた場合、他の奨学金との並行申請はできない。
- ※ 卒業後も第2660地区の活動に参加要請があれば、できる限り応えること。

7 重点分野

- | | | |
|-------------|---------------|-------------|
| ① 平和構築と紛争予防 | ② 疾病予防と治療 | ③ 水と衛生 |
| ④ 母子の健康 | ⑤ 基本的教育と識字率向上 | ⑥ 地域社会の経済発展 |
| ⑦ 環境 | | |

ロータリー平和フェロー（平和と紛争解決）

奨学金の用途

渡航費用、派遣期間中の授業料、住居費、生活費、保険など

留学先（以下のロータリー平和センター）

- | | |
|----------------|--|
| 修士号取得プログラム | <ul style="list-style-type: none"> ● デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校（米国） ● 国際基督教大学（日本） ● ブラッドフォード大学（英国） ● クイーンズランド大学（オーストラリア） ● ウプサラ大学（スウェーデン） |
| 専門能力開発修了証プログラム | <ul style="list-style-type: none"> ● マケレレ大学（ウガンダ） ● バチェシュヒシュ大学（トルコ） |

募集人員

若干名

派遣期間

修士号取得プログラム：15～24ヶ月（提携大学による）

専門能力開発修了証プログラム：12ヶ月

申請受付

2026年5月15日まで

資格

1. 学士号またはそれに相当する学位(修士号取得プログラム)、あるいは専門能力開発修了証プログラム
2. 有給・無給を問わず、関連分野において少なくとも合計3年間のフルタイムの職歴(修士号取得プログラム)
3. 平和と紛争解決分野における中級職または上級職において、少なくとも合計5年間のフルタイムの職歴(専門能力開発修了証プログラム)
4. 英語に堪能であること。さらに、第二外国語に堪能であること(修士号取得プログラムのみ)。
国際基督教大学(日本)への留学を申請する場合、日本語の語学力は必須要件ではありません。
5. 優れたリーダーシップ能力
6. 個人的活動や社会奉仕活動を通して、または学問上、職務上の実績を通して、国際理解と平和への専心を実証

チャリティボウリング大会

地区交流活性化委員会 委員長

深井 喜久

(大阪北RC)

皆様ご存じのように、当交流活性化委員会では今年度1つの告知サイト開始、4つの運営事業サポートを行って参ります。

すなわち、TOMOGAKI サイト、子ども食堂SFT支援活動、ガバナー杯野球大会、地区囲碁大会、そしてチャリティボウリング大会です。(8月26日付 このチャリティボウリング大会は、文科省スポーツ庁後援を受けました)

今月は、この吉川ガバナー年度目玉事業のひとつでもあるチャリティボウリング大会について、お話させていただきます。

吉川ガバナーの方針は、温厚創新、交流が2大テーマです。

この交流について、SFT活動というスポーツを通じて共に汗を流し、楽しむ交流こそが絆を深める大きなポイントである、と言うのが基本です。

老若男女が参加でき、天候にも左右されない、健康的スポーツ。それがボウリングです。

奇しくも1970年の大阪万博イヤーにボウリングは大ブームとなり、人々はこぞってボウリングを楽しみました。巡り巡って2025年大阪万博イヤー。この時期に、ロータリークラブとして、健康促進と共に、同じロータリアンと楽しみながら社会貢献も参加できるというチャリティボウリング大会。これこそが今最も求められているものではないでしょうか。

地区のロータリー仲間とボウリングを通じて懇親会で交流する。古い友人と再会し、新しい友達の輪ができ盛り上がる。そこから存在場所が確定して退会防止に、またその楽しそうな雰囲気を見て新たな新入会員も増える事でしょう。

各クラブからの参加申し込みに加えて、色々なご質問もいただいています。この機会にここでも少しご説明したいと思います。参加のご参考に頂ければ幸甚です。

【ボウリング大会ルール】

①クラブ対抗のチーム戦 4人1チーム

ただし、クラブより複数チーム参加可能

②1投ずつ交代に投げるチームベーカー方式採用

③1チーム2名までは会員以外の参加も可能

④予選参加は選択制(2か所の会場 2日の開催日 3つのシフト時間)

⑤事前登録制だが、急な変更も事前連絡で対応可

⑥予選試合の後は1時間ほどの懇親会あり(予選表彰式予定)

⑦24チームの本戦進出チームは改めて、

各クラブ内で人員を組み立て可能

⑧予選、本戦ともに試合会場の様子、チームスコアをHPにアップ

⑨優勝チームは地区大会において表彰



文科省スポーツ庁後援の認可取得

チャリティカップ®

第2660地区ロータリークラブ クラブ対抗ボウリング大会

予選

10.11(土) 9時～
10.25(土) 9時～
シフト制で6シフト

決勝戦

11.15(土) 9時～

会場: 関大前フタバボウル
心斎橋サンボウル
4人 / 1チーム

予選参加費

5,000円 / 1人

※内訳※

エンドポリオへの寄付金: 1000円

子供食堂への寄付: 1000円

決勝に残ったチームは

+ 3,000円 / 1人

登録方法 詳細は
Coming soon !!!

11/29(土)地区大会にて表彰



地区ローターアクト活動報告



ローターアクト代表

貴島 陵太朗
(大阪西南RAC)

地区広報委員長

王 心諾
(吹田RAC)

7月会長会報告

日程：2025年7月25日(金)

場所：大阪産業創造館

今回の会長会は、同期会長同士の交流を深めるとともに、今後RACで想定される課題や悩みについて、「会長の立場」から率直に意見を交わす場として開催しました。また、お互いの経験や取り組みを共有することで、問題解決のヒントや新たな気づきを得ることも目的としています。

今回のワークショップでは、

- ①ロータリアンとの関わり方
- ②会員や委員長への仕事の振り方
- ③例会ゲストについて
- ④OBOGとの関わり方

の4つのテーマについて、グループごとに意見交換を行いました。

配布されたワークシートをもとに、各クラブの課題や改善策を会長同士で議論が行われました。

中でも、①ロータリアンとの関わり方では、ロータリーの例会に参加したり、卓話を依頼することで関係を深めているクラブが多く見られました。

②会員や委員長への仕事の振り方については、会長が積極的に声をかけ、役割を促す工夫が共有されました。

③例会ゲストに関しては、来訪いただいた方とのコミュニケーションを大切にしているとの意見がありました。

④OBOGとの関わり方では、現役会員が率先してOBOGと協力し、例会を企画している事例も紹介されました。

こうした会長会での交流を通じて、今後のクラブ運営における連携や支え合いにつながる、強い信頼関係を築く機会にしたいと考えています。



各種SNSの紹介

当地区ローターアクトでは、主に公式LINEとInstagram、Facebookにて地区行事の案内や報告、例会案内等を発信しております。

RCの皆様にもRACの魅力や活躍を広く深く知っていただきたいと思っておりますので、ぜひ下記のQRコードから友達追加、フォローよろしくお願い申し上げます。



Rotary
District 2660



UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-26年度
国際ロータリー第2660地区

地区大会

2025年11月29日(土)

ホテル阪急インターナショナル
+オンライン配信

〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町19-19
TEL.06-6377-2100

12:30～

受付開始

13:30～17:40

開会式・本会議

18:30～

晚餐会

登録料(全員登録)：

- ①本会議場来場者 5,000円
- ②オンライン視聴者 3,000円

※①の本会議場来場登録者のみ参加票を事前配布。

晚餐会登録料：お一人／28,000円

ホストクラブ：大阪北ロータリークラブ

今年度の地区大会では、

開会式から本会議までをネット配信で行い、

ご自宅から臨場感を持って

ご参加できる試みにチャレンジします。

さらに、

斬新な仕掛けもご用意しておりますので、

新しい体験をお楽しみください。

国際ロータリー 第2660地区 MY ROTARY 登録状況 [2025年7月度]

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第1組	池田	30	29	96.7%
	池田くれは	31	31	100.0%
	箕面	33	24	72.7%
	大阪水都	21	10	47.6%
	大阪中央	42	40	95.2%
	大阪北梅田	50	34	68.0%
	大阪北	203	177	87.2%
	大阪大淀	33	23	69.7%
	大阪そねざき	43	24	55.8%
	大阪梅田	55	36	65.5%
	大阪梅田東	27	19	70.4%
	豊中	27	20	74.1%
	豊中千里	41	31	75.6%
	豊中南	24	18	75.0%
	合計	660	516	78.2%

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第4組	東大阪	58	54	93.1%
	東大阪東	69	46	66.7%
	東大阪西	17	11	64.7%
	東大阪中央	15	12	80.0%
	東大阪みどり	14	9	64.3%
	大阪上方	24	19	79.2%
	大阪柏原	22	13	59.1%
	大阪御堂筋本町	46	26	56.5%
	大阪難波	78	49	62.8%
	大阪ネクスト	20	16	80.0%
	大阪南	204	161	78.9%
	八尾	58	51	87.9%
	合計	625	467	74.7%

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第2組	茨木	30	23	76.7%
	茨木東	18	18	100.0%
	茨木西	29	27	93.1%
	大阪東淀ちゃやまち	19	19	100.0%
	大阪淀川	19	7	36.8%
	千里	19	16	84.2%
	千里メイプル	15	12	80.0%
	摂津	37	25	67.6%
	新大阪	23	19	82.6%
	吹田	51	48	94.1%
	吹田江坂	23	20	87.0%
	吹田西	42	39	92.9%
	高槻	49	46	93.9%
	高槻東	32	32	100.0%
	高槻西	19	15	78.9%
	合計	425	366	86.1%

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第5組	大阪堂島	47	43	91.5%
	大阪フレンド	19	16	84.2%
	大阪朋友	23	19	82.6%
	大阪西北	26	23	88.5%
	大阪リバーサイド	28	28	100.0%
	大阪船場	44	43	97.7%
	大阪心斎橋	41	34	82.9%
	大阪西南	97	93	95.9%
	大阪ユニバーサルシティ	42	39	92.9%
	大阪アーバン	26	22	84.6%
	大阪うつば	41	34	82.9%
	大阪西	108	73	67.6%
	合計	542	467	86.2%

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第3組	大東	35	25	71.4%
	大東中央	21	7	33.3%
	枚方	44	25	56.8%
	門真	21	16	76.2%
	交野	42	19	45.2%
	香里園	16	10	62.5%
	くずは	96	67	69.8%
	守口	29	13	44.8%
	守口イブニング	15	9	60.0%
	寝屋川	38	25	65.8%
	大阪東	121	105	86.8%
	大阪城東	23	17	73.9%
	大阪城北	58	45	77.6%
	大阪鶴見	26	22	84.6%
	合計	585	405	69.2%

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第6組	大阪	230	142	61.7%
	大阪イブニング	10	8	80.0%
	大阪グローバル	24	8	33.3%
	大阪平野	59	48	81.4%
	大阪城南	43	40	93.0%
	大阪中之島	28	19	67.9%
	大阪咲洲	21	16	76.2%
	大阪東南	29	29	100.0%
	大阪天満橋	42	30	71.4%
	大阪天王寺	46	46	100.0%
	大阪帝塚山	38	37	97.4%
	合計	570	423	74.2%

	会員数	登録人数	%
2025年 7月 31日	3407	2644	77.6%

第2660地区 RC及びRAC 会員の状況 (7月末)

拡大増強委員会
2025-26年度 委員長

樋口 武英
(大阪東RC)

1. ロータリークラブ 会員数

I M	クラブ名	7月					
		7/31 会員数	入会	退会	女性 会員	7/1～累積 入会	退会
I M 第1組	池田	30	4	0	5	4	0
	池田くれは	31	0	0	3	0	0
	箕面	33	0	0	4	0	0
	大阪水都	18	0	3	5	0	3
	大阪中央	42	2	0	8	2	0
	(ミレニアムズ衛星クラブ)	5			3		
	大阪北梅田	50	2	0	4	2	0
	大阪北	203	2	0	0	2	0
	大阪大淀	33	0	0	1	0	0
	大阪そねざき	43	1	0	12	1	0
	大阪梅田	55	0	0	13	0	0
	(コネクト衛星クラブ)	6			2		
	大阪梅田東	27	0	0	0	0	0
	豊中	27	0	0	2	0	0
	豊中千里	41	0	0	6	0	0
	豊中南	24	0	0	3	0	0
	小計	657	11	3	66	11	3
I M 第2組	茨木	30	0	0	4	0	0
	茨木東	18	0	1	5	0	1
	茨木西	29	0	0	5	0	0
	大阪東淀ちゃやまち	19	0	0	2	0	0
	大阪淀川	19	2	0	5	2	0
	千里	19	0	0	2	0	0
	千里メイプル	15	0	0	4	0	0
	摂津	37	0	0	3	0	0
	新大阪	23	0	0	2	0	0
	吹田	51	1	0	10	1	0
	吹田江坂	23	0	0	3	0	0
	吹田西	42	3	0	0	3	0
	高槻	49	1	0	7	1	0
	高槻東	32	0	0	0	0	0
	高槻西	19	0	0	0	0	0
	小計	425	7	1	52	7	1
I M 第3組	大東	35	0	0	0	0	0
	大東中央	21	0	0	9	0	0
	枚方	44	0	0	4	0	0
	門真	21	0	0	4	0	0
	交野	42	1	0	2	1	0
	香里園	16	2	0	1	2	0
	くずは	95	0	1	7	0	1
	守口	30	1	0	5	1	0
	守口イブニング	15	0	0	3	0	0
	寝屋川	38	1	0	3	1	0
	大阪東	121	1	1	8	1	1
	大阪城東	23	0	0	5	0	0
	大阪城北	58	0	0	6	0	0
	大阪鶴見	26	1	0	3	1	0
	小計	585	7	2	60	7	2

I M	クラブ名	7月					
		7/31 会員数	入会	退会	女性 会員	7/1～累積 入会	退会
I M 第4組	東大阪	59	1	0	3	1	0
	東大阪東	69	5	0	12	5	0
	(衛星クラブ：フューチャー)	16			3		
	東大阪西	17	0	0	0	0	0
	東大阪中央	15	0	0	3	0	0
	東大阪みどり	14	0	0	0	0	0
	大阪上方	24	0	0	7	0	0
	大阪柏原	22	0	0	1	0	0
	大阪御堂筋本町	46	2	0	6	2	0
	大阪難波	80	2	0	4	2	0
	大阪ネクスト	20	0	0	5	0	0
	大阪南	203	3	3	17	3	3
	(衛星クラブ：なみはや)	6			0		
	八尾	58	1	1	2	1	1
	小計	627	14	4	60	14	4
I M 第5組	大阪堂島	47	0	0	7	0	0
	大阪フレンド	19	0	0	4	0	0
	大阪朋友	23	0	0	1	0	0
	大阪西北	26	0	0	0	0	0
	大阪リバーサイド	28	1	0	2	1	0
	大阪船場	44	0	0	7	0	0
	大阪心斎橋	41	1	0	3	1	0
	大阪西南	97	1	0	25	1	0
	(衛星クラブ：ステラ)	6			1		
	大阪ユニバーサルシティ	42	0	0	7	0	0
	大阪アーバン	26	1	0	4	1	0
	大阪うつぼ	41	1	0	8	1	0
	大阪西	108	1	0	10	1	0
	小計	542	6	0	78	6	0
I M 第6組	大阪	230	4	0	6	4	0
	大阪イブニング	10	0	0	2	0	0
	大阪グローバル	24	3	0	4	3	0
	大阪平野	59	0	0	6	0	0
	大阪城南	43	0	0	1	0	0
	大阪中之島	28	0	0	2	0	0
	大阪咲洲	21	2	0	1	2	0
	大阪東南	30	1	0	5	1	0
	大阪天満橋	42	0	0	1	0	0
	大阪天王寺	46	0	0	3	0	0
	大阪帝塚山	40	2	0	5	2	0
	小計	573	12	0	36	12	0
	合計	3409	57	10	352	57	10

○データは8/14現在の my rotary に基づきます。

2. ローターアクトクラブ 会員数

(データは8/14現在のmy rotaryによる)

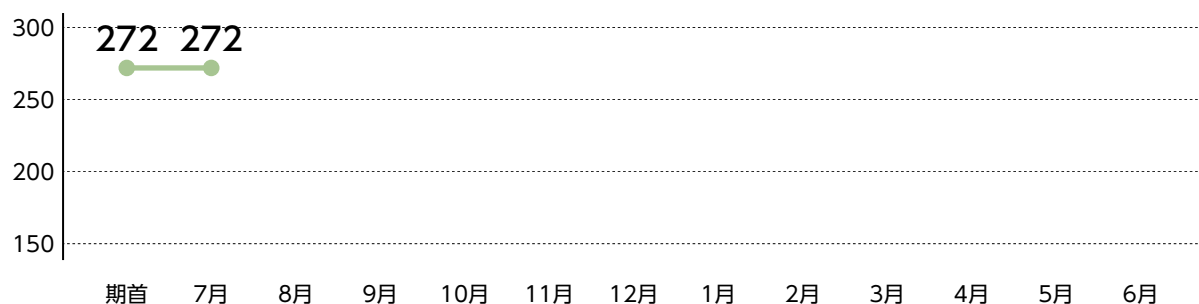
RAC名	7/1 会員数	7/31 会員数
池田	10	10
大阪中央	6	6
大阪北梅田	8	8
大阪北	18	13
茨木	14	10
大阪淀川	8	8
新大阪	1	1
吹田	10	7
枚方	11	11
守口	5	5
寝屋川	1	1
大阪東	26	19
東大阪	4	4

RAC名	7/1 会員数	7/31 会員数
大阪難波	15	15
大阪南	16	15
八尾	16	16
大阪西南	13	13
大阪ユニバーサルシティ	9	9
大阪西	7	7
大阪	21	30
大阪城南	9	9
大阪天満橋	5	7
大阪帝塚山	8	8
関西大学	12	25
大阪学院大学	11	9
池田くれは大阪大学	8	6
合計	272	272

3. RC 月末会員数の推移

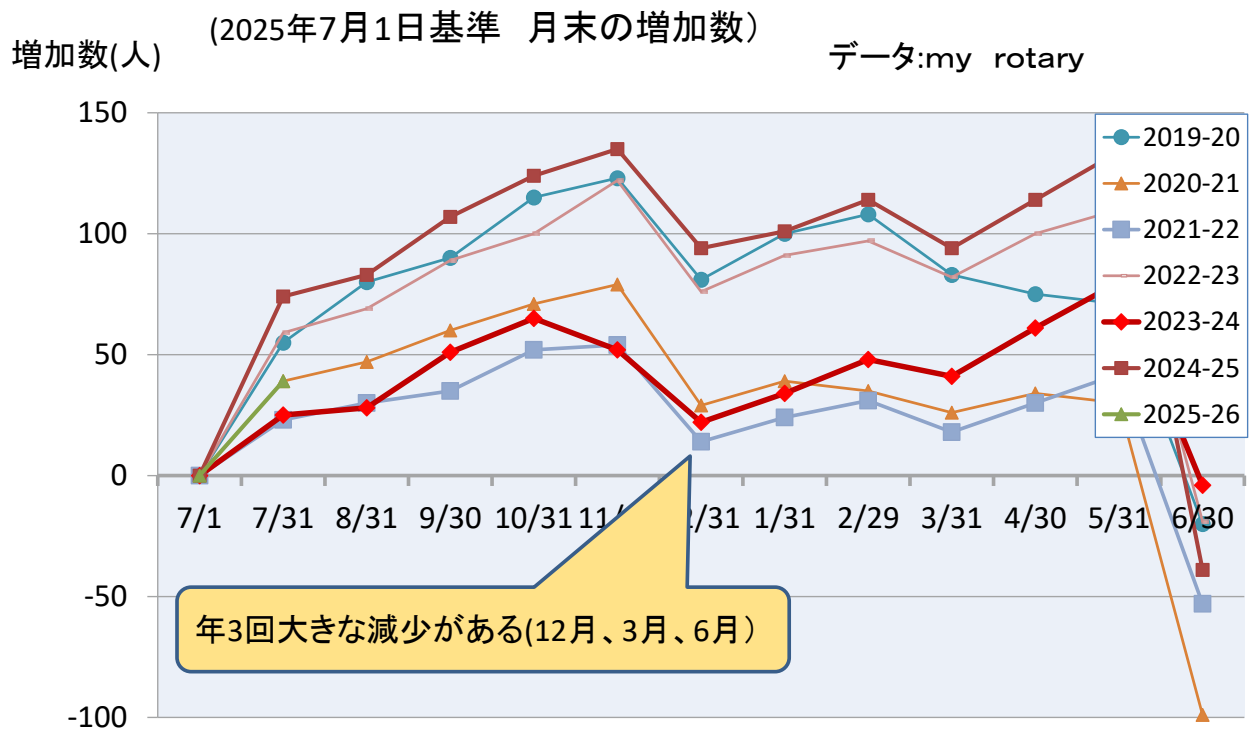


4. RAC 月末会員数の推移



- ★ 各クラブにおかれましては、引き続き会員増強へのご協力をお願いいたします。
- ★ 会員の入退会がありましたら、速やかに「my rotary」への入力をお願いします。

第2660地区のRC月別会員増加数



敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

宮 田 明 会員 (くずはRC) 2025年7月30日 逝去 享年77歳

会長、地区IM第3組ガバナー補佐
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

松 林 寛 会員 (大阪南RC) 2025年7月31日 逝去 享年88歳

青少年奉仕理事、社会奉仕理事、地区インターアクト委員長
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

佐 藤 原 二 会員 (吹田西RC) 2025年8月17日 逝去 享年69歳

社会奉仕委員長、青少年奉仕委員長
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

菊 田 芳 会員 (守口RC) 2025年8月19日 逝去 享年83歳

会長、理事、クラブ奉仕委員長
米山功労者、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

堀 岡 晃 会員 (枚方RC) 2025年8月21日 逝去 享年80歳

会長、幹事、クラブ奉仕委員長、社会奉仕委員長、職業奉仕委員長、国際奉仕委員長
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

●東大阪東フューチャーロータリー衛星クラブ (ビジターフィー変更)

2025年9月～ 2,000円

美しい人生を、かなえよう。

タカラベルmont株式会社

特別顧問

吉川 健之 (大阪北RC)

2025-26年度 ガバナー



〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1
TEL (06) 6211-2831
✉ t.yoshikawa@takara-net.com

建築金物金属製品製造・販売

株式会社 ユニオン

代表取締役社長

立野 純三 (大阪RC)

2015-16年度 ガバナー



〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22
TEL (06) 6532-3188

店舗等内装施工業

栄和工業株式会社

代表取締役社長

簡 仁一 (茨木RC)

2020-21年度 ガバナー

〒567-0012 大阪府茨木市東太田3-7-7
TEL (072) 624-2377
✉ jinichi.kan@eiwa1998.co.jp

パワーツール製造・販売

ヨコタ工業株式会社

代表取締役社長

横田 孝久 (東大阪RC)

2025-26年度 ガバナーエレクト



〒578-0947 大阪府東大阪市西岩田3-5-55
TEL (06) 6788-1265
✉ taka@yokota-kogyo.co.jp

菓子製造販売

株式会社 梅仙堂

代表取締役社長

前田 要之助 (大阪東淀ちゃやまちRC)

2025-26年度 IM第2組ガバナー補佐



〒530-0012 大阪市北区芝田2-1-3 梅仙堂ビル
TEL (06) 6372-1098
✉ y-maeda@baisendo-fit.co.jp

『困ったら頼られるスピード感を持ったパートナー』

株式会社 アクティブ

代表取締役社長

佐藤 多加志 (大東RC)

2025-26年度 IM第3組ガバナー補佐



〒661-0965 兵庫県尼崎市次屋2-1-10
TEL (06) 6498-7771
✉ president@activejapan.com

「運」も運びます。

日本商運株式会社

代表取締役

田中 康正 (八尾RC)

2025-26年度 IM第4組ガバナー補佐



〒581-0018 大阪府八尾市青山町1-6-5
TEL (072) 992-9767
✉ y.tanaka@nihon-shoun.co.jp

外国貿易

極東技研工業株式会社

代表取締役会長

西出 省三 (大阪心斎橋RC)

2025-26年度 IM第5組ガバナー補佐



〒596-0827 大阪府岸和田市上松町3-6-41
TEL (072) 427-2190
✉ joe@feicjoe.com

弁理士

弁理士法人 楓国際特許事務所

所長

桑城 伸語 (大阪梅田東RC)

2025-26年度 国際奉仕委員長



〒540-0011 大阪市中央区農人橋1-4-34 信金中央金庫ビル6階
TEL (06) 6941-3982
✉ shingo-kuwashiro.850@kaede-pat.com

食品工場・危険物倉庫・冷蔵倉庫の建設に注力

三和建設株式会社

代表取締役社長

森本 尚孝 (大阪北RC)

2025-26年度 地区代表幹事



〒532-0013 大阪市淀川区木川西2-2-5
TEL (06) 6301-6636
✉ hisanori.morimoto@sgc-web.co.jp

月信編集委員会からのお願い

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX または E-mail にてお願い致します。
折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所に必着でお送り下さい。
原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用用紙にてお願いいたします。
専用用紙はガバナー事務所にお問合せいただくか、地区ホームページからもダウンロードいただけます。

2025-26年度 国際ロータリー 第2660地区 ガバナー事務所のご案内

ガバナー 吉川 健之
地区代表幹事 森本 尚孝
地区副代表幹事 田中 計久 豊田 崇克 廣瀬 哲三

所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660 FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

ホームページ

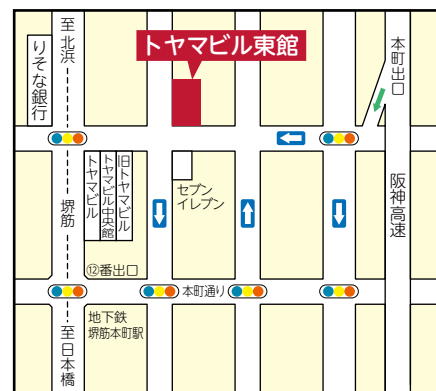
<https://www.ri2660.gr.jp/>

勤務時間

9:30~18:00

休日

土曜、日曜、祝日 夏季休暇 8/12(火)~15(金) 冬季休暇 12/29(月)~1/2(金)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております(最多36名)。詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

月信編集委員会

ガバナー
吉川 健之 (大阪北RC)

地区代表幹事
森本 尚孝 (大阪北RC)

地区常任幹事(ガバナー月信)
辻本 希世士 (大阪北RC)

Rotary
District 2660



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp